多職種連携で解決できること　A・B・Cグループ

課題
- 白雪姫プロジェクト
  ※寝たきりの人を起こす
- 歯科の事相談したい
- 癌患者のリハビリ、良肢位のポジショニング
- ニーズにこたえられるか
- **寝たきりの人は特に口腔ケアが必要。**歯科関わって欲しい
- **訪問サービスが足りない**

退院調整会議 → **看取りケア**

- **Z連携の活用**
- 主治医を中心としたチーム会議をしたい

訪問看護（24h）のサポート必要

方法②　医師を中心としたチーム会議
方法③　看取り連携の学習会

在宅での看取り

方法④　病院や施設全体で取り組む
方法⑤　多職種連携会議等で困っている内容に対して歯科医師等専門家に相談する

問題提起を行っていかないと変わらない

課題
- 誤嚥性肺炎で亡くなる人が多い
- 入院時の口腔ケア不十分
- 食べない人ほど必要

予防

口呼吸を鼻呼吸にかえるだけで効果

口腔体操
- 誤嚥性肺炎予防に効果あり
- 効果が出るのに1年くらいかかる。**継続が大切**
- 口呼吸の人は舌が奥へ沈んでいるので難しい
- あいべ体操出来ない人は困難

方法①
飲みニケーション等によりお互いの職種や仕事を理解する

個人情報保護がネック

知識・情報の共有

課題
- 薬が家で飲めていない
- 服薬できずに再度入院
- 認知症には早めの薬が必要では？誰が気づく？
- お互いの職種がどこまでかかわれるかわからない

地域の人巻き込みたい

どこまで情報を出してもいい？

知識を普及することで解決できる具体的な取り組み
D･E･Fグループ

課題

・こまめな情報共有
・コミュニケーション能力の不足
・家族に認知症をどう伝える？

知識不足

信頼関係築けない

基礎をしっかり

方法①　認知症サポーター養成講座を専門職も受ける

服薬の課題

・昼の薬残りやすい
・飲みやすい工夫
・退院すると自分で微調整してしまう
・飲み忘れていても、その人が健康ならいいのでは？
・薬の管理　施設･病院は管理しやすいが家では難しい

情報共有

インターネット等情報
多すぎて選べない

対応の課題

・抱え込まない、気持ちの余裕が大事
・認定にズレがあることも、本当の様子を把握する
・薬使わない、マンツーマン対応、転倒予防
・市民の判断も聞く

誰かが変化に気づけるように!!
体調の変化、薬飲み忘れ、認知症等

知識･情報の共有

方法②　市民も参加できる会議を開催する
※ざっくばらんに話せるような

市民への普及啓発

方法③　市民の集まりへの出前講座
方法④　地域へ小さい顔見知りグループを作る
方法⑤　免許の更新時に研修をする

方法⑥　小地域･地域ケア会議の活用

人材、資源不足を解決する為に出来ること
G･Hグループ

課題

・多忙で中々研修に参加できない
・看護師が不足している。研修を重ねて一部介護職にしてもらっていることもある
・若い人の交流の場がない
・シフトがあり休みがとりづらい
・人材不足
・地元へ帰ってこない
・薬剤師の新見エリアに、魅力が少ない
・介護職は資格をとっても給料にあまり反映されない

学生
・PT,OTには老健より病院の方が人気がある
・薬剤師は病院やメーカー希望が多い
・看護就職フェア―岡山会場ではあまり参加がなかった

資格
・介護職は仕事がハードだが、資格等が給与に反映されないため就職する人が少ない

家庭
・出産などで仕事離れが起こっている
・夜勤等があると、子育て世代は離職することがある
・人材が不足しており、日勤だけといった勤務体制が作れない

改善

・皆で勉強して人材を育てあっていく
・多職種が力を合わせ、やりがいのある仕事をする
・新見に楽しみを作る（映画館、大型ショッピングモール等）
・医療系のハローワークを作る
・若者に医療、介護の仕事をPR
・働きやすい環境づくり（児童保育、勤務時間）
・勤務体系の多様化
・地元の人の活性、魅力のある地域づくり
・勤務薬剤師増えれば、訪問を増やせる

看護学生奨学金

子育て支援

新見市のPR

新見市のPR企業誘致

方法①　仕事にあった報酬にする
方法②　新見地域のPRをする
　Uターン、Iターンをして新見に勤めている多職種に良かったことを聞いて新聞やテレビでPRする
方法③　実習生を受け入れる
方法④　子育て支援、結婚支援をする
方法⑤　看護フェアを看護師だけでなく、多職種で行う
方法⑥　中学生や高校生向けの体験学習の機会を作る

多職種に対する普及啓発の方法　I･Jグループ

課題
- お互いの仕事がよくわからない
- 必要な情報がもらえない
- ケアマネに丸投げのことがある

改善
会議へ参加しやすい環境づくりをする
- 先輩が誘う
- **職場、上司の理解**
- 各種団体や行政が働きかけをする

方法①　各種会議･サービス担当者会議への参加

改善
- 回数を増やす
- 各団体同士の交流会等の企画
- 所属機関で連絡を徹底
- 目で見て指導　アイパッドの活用

顔の見える関係

お互いの仕事を理解する

急な退院は困る

ミニメーリングリスト情報をリアルタイムに共有したい

新見版情報共有書

方法②　介護は医療を、医療は介護保険を勉強する

方法③　Z連携の活用

方法④　PRする
- 各種団体のPR
- 自分の職場や職種をPRする
- 行政放送でPRをする
- 備北民報や市報で病院、施設、事業所の紹介をする

方法⑤　役割分担しましょう！